

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	豊の国優良住宅推進協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0567	—	0757

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	グリーン化事業未経験工務店を新規募集。入会した工務店への、本事業についての説明、サポート等を重点とし、補助事業の推進を行った。先進的な省エネ住宅や、健康省エネリフォームを推進する研修会や、セミナーを当グループのみならず、未加入工務店や設計事務所向けに、公開講座として講師を招いて開催することができた。当グループの会員工務店は、JBNへの入会が必須の為、全国で開催される省エネ研修会や、構造研修会、木造住宅関連セミナー等へ、定期的に参加するように周知している。
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/09/28	名称	平成30年度総会	●	
	内容	当グループ総会の際に、工務店、木材関係者向けにグリーン化採択後の事業説明を行った。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/10/13	名称	おおいたみのリフェスタ	●	
	内容	大分県農林水産部主催の『おおいたみのリフェスタ』の中で大分県木造住宅等推進協議会ブースにて、グリーン化補助金説明、当グループの活動案内や、参加工務店の施工写真パネル展示、省エネ断熱構造カットモデルを展示して、来場のお客様への説明、プレゼンを行った。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/02/01	名称	2月定例会	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/02/22	名称	健康省エネシンポジウム	タイプ	座学
	工務店研修会 3	有	開催日	2018/05/24	名称	建設現場に関する法律セミナー	タイプ	座学
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有		
	内容	協議会内の未経験工務店と経験工務店の交流会を行った。事務局が未経験工務店と個別に対象物件の事前打合せを行った。当協議会のメンバーはすでに入会しているJBNからのサポートも受けられるが、適合証・BELSの代行取得等を行うナイスサポートシステムへの入会を促した。		
取組み②	サポートの有無 2			
	内容			
取組み③	サポートの有無 3			
	内容			

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	0	発行予定	0
② 住宅履歴情報の保管先	自社	機関名		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	無	
内容		
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	当協議会では毎年事業計画を立て、当会メンバーのみならず、未加入の工務店、設計事務所向けに、先進的な住宅の省エネ化や、健康省エネリフォームに関するセミナー、勉強会を講師を招いて開催している。	
省エネ化に対する取組 ②		
内容		
BELS工務店の登録数	6社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	豊の国優良住宅推進協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0567	—	0757

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/06/10	名称	6月定例会		
	内容	H31年度地域型住宅グリーン化事業適用申請書の説明を行い、今年度事業について詳細な説明をするとともに、注意点を説明する。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/10/12	名称	おおいたみのリフェスタ		
	内容	昨年同様、大分県農林水産部主催の『おおいたみのリフェスタ』の中で大分県木造住宅等推進協議会ブースにて、グリーン化補助金説明、当グループの活動案内や、参加工務店の施工写真パネル展示、省エネ断熱構造カットモデルを展示して、来場のお客様への説明、プレゼンを行う。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/06/10	名称	働き方改革セミナー	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/09/18	名称	契約書改定、増税10%対応セミナー(弁護士)	タイプ	座学
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/12/18	名称	オール電化+創畜連携システム研修会	タイプ	座学
	工務店研修会 4	有	開催日	2020/02/12	名称	健康省エネ住宅シンポジウム	タイプ	座学
	工務店研修会 5	有	開催日	2020/03/12	名称	大分型応急仮設住宅勉強会	タイプ	座学

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有					
	内容	各設備メーカー、JBNサポートシステム、ナイスサポートと連携し、いつでもサポートを受けられる体制を構築している。					
取組み②	サポートの有無 2						
	内容						
取組み③	サポートの有無 3						
	内容						

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	自社	機関名	
------------	----	-----	--

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有			
内容	弁護士事務所と団体顧問契約を検討中。			

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有			
内容	資材メーカーによる省エネ化に向けた設計の勉強会を開催するとともに、資材の提案をしてもらう。			
省エネ化に対する取組み (改修)	有			
内容	各住宅会社メンバーから過去事例の発表を行い、これから取り組む会社への啓蒙を行う。また、資材メーカーから設計勉強会と、資材の提案をってもらう。 創畜搭載住宅勉強会を行う。			

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/12/18	
内容	各住宅会社メンバーから過去事例の発表を行い、これから取り組む会社への啓蒙を行う。また、資材メーカーから設計勉強会と、資材の提案をってもらう。 創畜搭載住宅勉強会を行う。			
研修計画 ②		実施日		
内容				

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	豊の国優良住宅推進協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0567	—	0757

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	過去にあった豊後地震や、熊本・大分地震が起こっても倒壊しないように耐震性能を重視し、鉛直加重を直接基礎に伝えやすくするため、柱直下率を60%以上とする。 また、有数の林産県であることを活かし、大分県周辺の合法木材をふんだんに使い、主要構造材の50%以上を大分県周辺の木材を利用する。 さらに伝統素材が継承され、家に愛着を持ち長く住みたくなるように、大分の伝統素材を使った家作りを推奨する。
----	--

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明					
主要構造材	土台	有				
	柱	有				
	梁・桁等の横架材等	有				
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無				
造作材	枠材、廻縁等	無				
板材	壁板、床板等	無				

林業が盛んな大分県は他県の率先垂範となるべく地元エリアの地域材だけではなく全国の地域材を推奨します。本来の地域材活用の目的は地元の地域材に留まらず日本の地域材＝合法木材(国内)＝国産材の普及促進が目的であると認識し推奨します。

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	流通構成員が主体となり地域材の市況を確認し、定期開催する当会定例会で市況・価格情報を報告する。 上記での当定例会での報告にて共有する。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	団体としての建材、七島蘭など特定地場資材を標準仕様化し、合理化を図る。 また、流通にて対象商品の特定、メーカー交渉することで価格メリットを図る。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	上記にて対象となった商品に対して、流通業者にて資材確保を推進して安定化を目指す。 加えて、定例会等にて情報発信を行う。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	フラット35の設計施工基準を基本として、S基準を目標とする。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	施工業者が行う維持管理における検査マニュアルを作成し、検査の精度を高めることを目指す。 また、その際の関係書類・写真等をデータ化して蓄積する。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	エリア別完成検査・・・各エリアごとに完成検査をグループ内の施工業者と共同で行える体制をとる(有料オプションとして御施主様にて選択していただく)	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	地域伝統素材の価格表作成 七島蘭・漆喰・珪藻土・竹細工で作った照明等の価格表を作成し分かりやすくする仕組みを目指す。 御施主様への詳細御見積書の提出 御施主様へ提出する御見積は【一式御見積書】とせず、【詳細御見積書】として提出する。	
⑧ その他の共通ルール	無	
内容		

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	グループの定例会の際、社会労務士を招いた「はたらき方改革のセミナー」を実施
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	JBNの大工技能研修などの紹介を行い、参加を促す。
③ 社会保険への加入	有	内容	大分県建設労働組合との連携で、職方さん向けの現場保険加入の説明会を開催
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	各社の取り組みを発表して、情報の共有とレベルアップを図る。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	豊の国優良住宅推進協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0567	—	0757

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	大分県産七島藁の情報を共有し、活用をすすめる。
② 和瓦の活用	無	内容	
③ 襖・障子の活用	無	内容	
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	七島藁・漆喰・珪藻土の活用をすすめる。 大分は昔からの林産県なので、構造をはじめ内装や外構にも積極的に木を使用する。そのための技術や商品を共有する。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	地域伝統素材(七島藁・漆喰・珪藻土・床材・竹細工で作った間接照明等)の内1つ以上を採用する。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	大分の自然と触れ合い、近隣との人情細やかなお付き合いやコミュニケーションが取れやすいオープン外構を目指す。南国であるため、特に夏の暑さ対策を考慮し夏日対策として軒の出50cm以上を推奨する。
③ 地域の街並み形成への配慮	無	内容	

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	<p>全木協を通じて熊本震災への応援、連携を行い、復興の手助けをしました。構成員の協力のもと、職人を派遣し仮設住宅建設を行いました。</p>		
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	<p>当グループでは、災害時に応急仮設木造住宅を建設する災害協定を大分県と締結している。</p>		